

江戸庶民の美

大津絵 浮世絵 と 版画

令和7年(2025)
3月15日[土]▼5月6日[火・祝振]

— 幻の東海道五拾三次 —

休館日：月曜日(ただし5月5日「月・祝」は開館)

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料：一般 800円、学生 550円、中学生以下無料

※70歳以上、各種手帳(マイリロID可)をお持ちの方は、証明できるものを提示により無料。

団体(有料20名以上)「各100円引」 前売り「各200円引」

前売券販売所：中国新聞販売所(取り寄せ)、啓文社各店、JR尾道駅内観光案内所、生協ひろしま



大津絵《傘さす女》
笠間日動美術館 蔵



大津絵《荷持奴》
笠間日動美術館 蔵



歌川広重《東海道五拾三次 大津宿》笠間日動美術館 蔵



ONOMICHI CITY MUSEUM OF ART
尾道市立美術館
〒722-0032 尾道市西土堂町17-19 千光寺公園内 Tel.0848-23-2281

主催：尾道市立美術館、中国新聞備後本社
後援：広島県、NHK広島放送局、尾道エフエム放送、ちゅピCOM、エフエムふくやま
協力：公益財団法人日動美術財団、日本美術商事

大津絵と浮世絵版画

— 幻の東海道五拾三次 —



ゴッホやモネなど近代ヨーロッパの画家に多大な影響を与えた歌川広重の浮世絵版画「東海道五拾三次」と、その東海道の宿場町・大津で旅人に売られた土産「大津絵」の展示会を開催します。浮世絵版画は江戸時代の庶民が主として鑑賞目的で楽しんだものですが、大津絵は旅人が知人への土産物として、あるいは自分用に購入した日用品に近い存在でした。ともに江戸庶民の美意識が色濃く反映されたものと言えます。

本展では、幻の東海道五拾三次と言われた丸清版五拾三次55点と現地写真55点に加えて、画家・小糸源太郎日蔵の大津絵などに尾道市名誉市民の画家・小林和作日蔵の大津絵も加えた38点を展示し、江戸庶民の美をお楽しみいただけます。



1. 歌川広重《東海道五拾三次 日本橋》
2. 歌川広重《東海道五拾三次 原宿》
3. 歌川広重《東海道五拾三次 府中宿》
4. 大津絵《鬼の念仏》
5. 大津絵《猫と鼠》
1.~5. は 笠間日動美術館 蔵
6. 大津絵《長刀弁慶》尾道市立美術館 蔵

関連イベント

■ 記念講演会「広重とめぐる東海道の旅 - 魅力発見! 丸清版 -」

講師：前田 詩織 氏 (福井市美術館学芸員)
日時：3月15日(土) 午後2時~午後3時
会場：尾道市立美術館 2F ロビー
※ 参加無料、申込み不要。要・展覧会観覧料

■ ギャラリー・トーク ※当館学芸員が担当

日時：3月23日(日)、4月20日(日) 両日とも午後2時~午後2時45分
※ 参加無料、申込み不要。要・展覧会観覧料

■ こどもと大人の鑑賞会

日時：3月30日(日)、4月27日(日) 両日 午後2時~午後3時
こどもたちを対象にした鑑賞会です。(中学生以下対象)
鑑賞資料をもとに、作品鑑賞していただけます。
※ 参加無料、申込み不要。付添いの方1名は無料で入館。

■ 記念茶会

日時：4月19日(土) 午前10時から午後3時
会場：尾道市立美術館 2F ロビー
協力：表千家同門会備後支部(尾道)
料金：1,000 円 (含 展覧会観覧料)
※ 詳細は尾道市立美術館 (Tel.0848-23-2281) までお問い合わせください。

アクセス

【公共交通機関】

◎ JR山陽本線「尾道駅」から東行きバス(①番のりば)で「長江口」下車、千光寺山ロープウェイで千光寺公園へ。

◎ JR山陽本線「尾道駅」/JR山陽新幹線「新尾道駅」から、タクシーで約15分。

※ 美術館最寄り「千光寺公園」行きバスは便数が少ないため、ご注意ください。

【自動車】

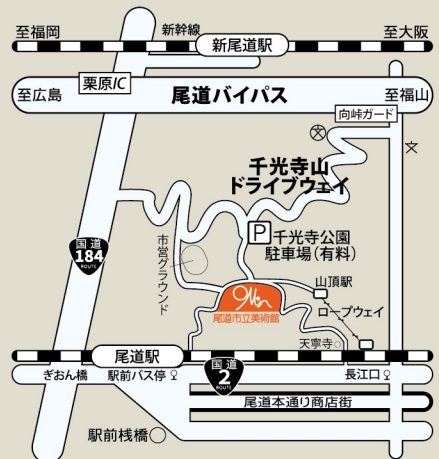
◎ 山陽自動車道・尾道ICから約20分、福山西ICから約15分

※ 千光寺山ドライブウェイ経由で「千光寺公園駐車場(有料)」ご利用の場合、入館時に駐車券の提示で1名限り200円割引。

〒722-0032
広島県尾道市西土堂町17-19
千光寺公園内
Tel. 0848-23-2281

♥ アンビュー! 電子チケット

スマートフォンで買える
オンラインチケットを、会期中
前売り価格で販売しています▶



【ご来館のお客様へ】

会期やイベントの変更等をさせていただく場合があります。また、状況により感染拡大防止対策のご協力をお願いすることがあります。
ご来館の際には美術館公式ホームページ等で最新情報をご確認ください。

尾道市立美術館

